

# 平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 16 日 (土) 試合開始 13:00 試合終了 14:20

【少年女子】 1回戦 富士北麓公園 体育館 Bコート 第 3 試合

群	馬	73	$\left\{ \begin{array}{l} 15 - 23 \\ 18 - 24 \\ 13 - 35 \\ 27 - 21 \\ - \end{array} \right.$	103	埼	玉
---	---	----	--	-----	---	---

## 群 馬

番号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	小笠原 真紀	5	1	2	1	7	0	2	2	1	0	1	5	2	0	5
5*	木内 智美	14	0	0	6	9	2	0	0	4	4	8	0	1	1	1
6*	根岸 美佳	9	1	4	3	7	0	1	1	4	0	4	1	2	0	5
7*	小野 真名美	0	0	0	0	5	0	2	2	1	0	1	0	2	0	2
8	山口 侑香	7	1	1	1	4	2	2	2	0	2	2	0	1	0	1
9	石川 詩織	6	2	6	0	0	0	3	3	2	0	2	1	3	0	2
10*	高橋 美帆	15	0	0	5	9	5	0	0	3	7	10	0	0	0	3
11	藤本 晏里	6	0	2	2	5	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0
12	田中 美咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	阿部 奈津美	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1
14	高草木 美咲	6	0	0	3	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
15	富塚 菜摘	5	1	4	1	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
HC	原口 栄一 / チーム	0														
合 計		73	6	19	22	56	11	12	12	18	14	32	7	12	1	20

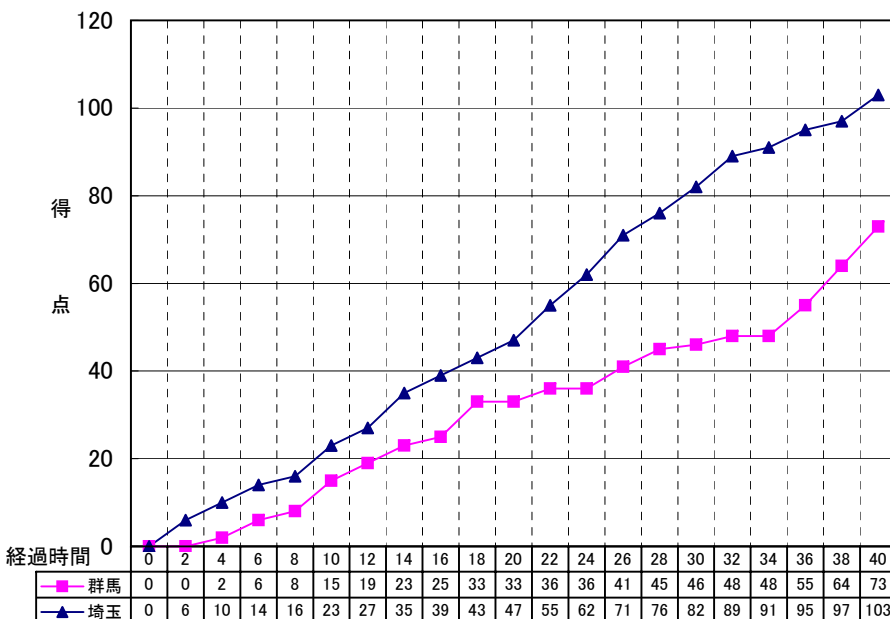
\*はスターティングメンバーを表す 確率 31.6% 39.3% 91.7%

## 埼 玉

番号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	増子 友紀	13	0	2	6	11	1	1	0	1	0	1	0	5	1	1
5*	桃木 春華	4	0	3	2	3	0	0	2	5	2	7	1	2	3	2
6	高橋 咲	6	0	2	2	4	2	2	1	2	1	3	1	0	1	1
7*	所 奈美	11	1	5	3	6	2	2	2	3	3	6	0	1	0	1
8	黒白 なつみ	6	0	0	2	7	2	2	1	2	0	2	3	2	0	3
9*	牧野 何日香	23	3	4	7	11	0	0	1	4	2	6	1	4	1	2
10*	石川 睦	12	0	0	6	7	0	0	1	3	2	5	3	0	0	1
11	新井 友可里	6	0	0	3	4	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
12	野宮 沙耶香	5	1	2	1	3	0	0	1	2	3	5	0	0	0	2
13	佐藤 美幸	2	0	0	1	4	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0
14	市川 歩	3	1	5	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	2
15	鶴見 彩	12	0	1	5	10	2	2	2	4	2	6	2	2	1	4
HC	小林 淳一 / チーム	0														
合 計		103	6	24	38	70	9	9	14	27	18	45	12	18	7	19

\*はスターティングメンバーを表す 確率 25.0% 54.3% 100.0%

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

1Q立ち上がり群馬ハーフコートマンツーマン、埼玉オールコートマンツーマン。群馬のパスミスから埼玉の連続ゴールで得点を重ねる。開始4分で10-2。群馬は④小笠原の3P、⑤木内のポストプレーを中心に巻き返しをはかるが、23-15の埼玉リードのまま終了。2Qに入って、群馬は④小笠原を中心に速いテンポでボールが回りはじめる。勢いに乗り点差が縮まるかと思ったが、埼玉⑧黒白⑩鶴見の確実なゴールで埼玉も引き離しにかかる。前半残り6分で群馬はメンバーを総入れ替えし、オールコートマンプレから3-2のゾーンに変えた。群馬⑩石川⑩富塚の3Pで追い上げを図るが、埼玉の④増子から始まるゲームコントロールで、47-33埼玉リードのまま前半終了。3Qリバウンドのとれない群馬は、シュートが単発になる。埼玉は、リバウンドやインターセプトからの速攻や⑩牧野⑩野宮⑧黒白の3Pで一気にリードを広げる。群馬は残り4分再び1-2-1-1のゾーンプレスをしなが、プレースピードの上だった埼玉は得点を重ね、82-46で終了。4Q追撃したい群馬は⑧山口の3P、⑩富塚のドライブインで得点を図るが、終始粘り強いディフェンスとリバウンド、ルーズボールを支配した埼玉が確実に得点を伸ばし103-73で終了。

主 審 倉 口 勉 (東京)

副 審 河 野 仁 (山梨)

記入者 宮 川 ま な み (山梨)